

みんなの議会 おおさと

NO.202

定例会

12月 3月
8月 6月

町花：つつじ



希望の春



2021 令和3年5月1日
宮城県大郷町議会

2 令和3年度予算
6 町当局へ19項目の意見を提言

10 補正予算
13 一般質問

23 追跡リポート
その後どうなった…

令和3年度 一般会計予算 災害復興本格化

51億円

前年比
2億8000万円増

災害復興関連事業



- 町管理河川緊急浚渫事業 **6232万円**
- 中粕川地区復興まちづくり事業
 - ・ コミュニティセンター・防災緑地等 **1億2640万円**
 - ・ 宅地嵩上げ安全確保事業 **1億4393万円**
- 中村原地区宅地造成事業（災害公営） **2億5031万円**

子育て世帯への応援



- 小・中学校の給食費無償化 **3081万円**
- 認定こども園主食・副食費無償化 **761万円**
- 通園バス運行補助金 **1487万円**
- 小・中学校スクールバス運行業務 **4437万円**
- 18歳までの医療費助成 **3067万円**

生活環境支援

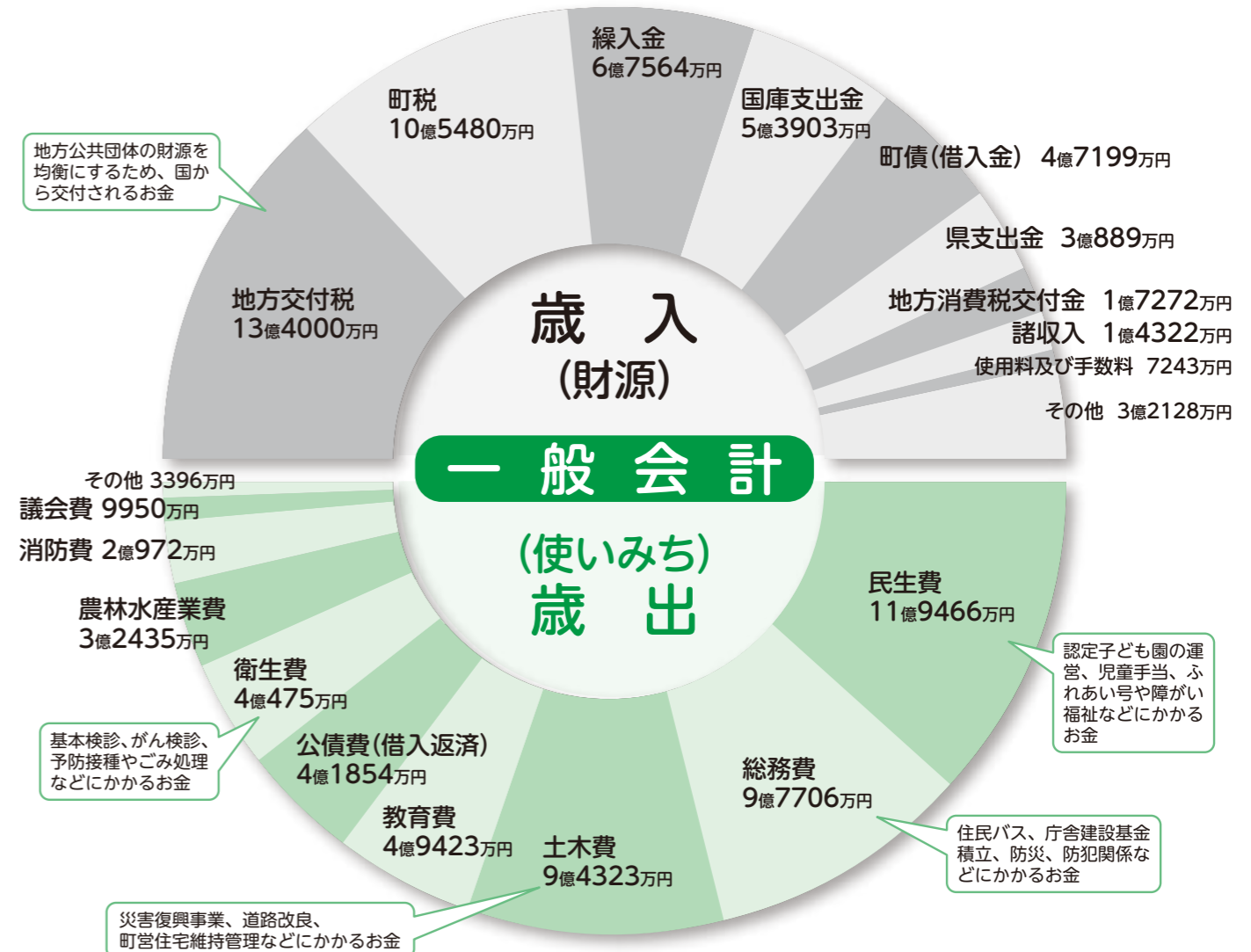
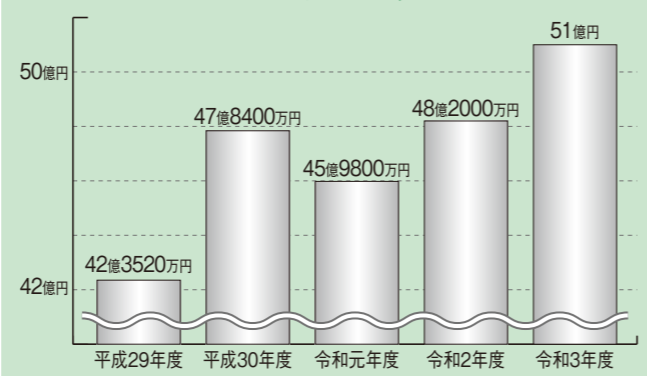


- 高齢者の外出支援事業「ふれあい号」 **850万円**
- 住民バス指定管理料・公金徴収業務 **3034万円**
- ごみ収集・焼却処理 **1億2945万円**

移住定住促進事業

- 地域おこし協力隊関連費用 **1300万円**
- 若者及び子育て世帯定住促進奨励金 **708万円**
- 被災住宅再建支援金 **2000万円**

過去5年の一般会計予算(当初)の推移



特別会計・事業会計予算額

国民健康保険 8億9567万円 5598万円減	介護保険 10億5984万円 2762万円増	後期高齢者医療 8302万円 79万円減	下水道事業 2億4909万円 2139万円増
農業集落排水事業 5419万円 304万円増	戸別合併処理浄化槽 6707万円 73万円増	宅地分譲事業 2億5690万円 2億4434万円増	水道事業会計 収益的支出 2億3251万円 3422万円増 資本的支出 2億7148万円 1億7344万円増

一般会計・特別会計・水道事業会計予算を 徹底検証

令和3年度の予算を詳細に審査するため、特別委員会を設置し、延べ6日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。本会議では委員会審査報告の後採択し、一般会計及び各種会計を可決しました。



石川 壽和 副委員長 赤間 茂幸 委員長

予算審査

町税のコンビニ収納
問 新基幹システムの内容は。
答 国保税・住民税・固定資産税・自動車税について、コンビニ収納に対する業務、令和4年度実施する予定。

防犯灯増設
問 令和3年度のLED化計画は。
答 25基予定で壊れた都度LED化にする。町境を集中してやりたい。



夏まつり
問 現時点の内容とスケジュールは。
答 実行委員の意見を聞き、開催方法、プログラム構成等について考えていきたい。

通園バス運行補助金
問 認定こども園の通園バスの増額要因は。
答 運営法人側から町に対して添乗員分を見てもらえないかと要望があり、3名分約300万円増額計上となった。



被災者生活支援員
問 業務内容は。
答 東日本台風被災者支援で個別訪問と地域づくりを視点に、仮設や在宅も含め、地域のつながりを作り、サロン等の活動も支援する事業。



木造住宅耐震診断
問 診断の進捗状況は。
答 住宅の耐震化率は66.9%。90%を目標としている。

心のケアハウス
問 利用状況は。
答 令和2年度は、延べ来所支援41名が「心のケアハウス」に來られた。学校支援75名、家庭訪問支援31名となっている。

防災士資格取得
問 計画と何名ぐらい予定しているのか。
答 今年度から新設で、今年1名、来年度1名予定している。

移住支援
問 事業内容は。
答 対象者は東京都に住んでいる方など。最大100万円を支給する内容である。対象は現在、㈱イグナルファームのみだが、他の企業も対象となる。

中央公民館跡地利用
問 公民館跡地の計画は。
答 駐車場や会議室（プレハブ）等を検討している。



▲いきいき百歳体操

庁舎建設基金積立(1億円)
問 今後の計画は。
答 令和12年度建設候補地決定の予定。町民の意見等を参考にしながら適地を決定したい。

町指定無形文化財
問 継続が難しい状況になつている。後継者対策を。
答 学校の協力を得たり、町内の若者などにも声がけをして継続できるように努力していく。



▲無形文化財の継承を

スクールソーシャルワーカー
問 今後どのような活動をしていくのか。
答 児童生徒の抱える問題の解決に向け、「心のケアハウス」に重点配置し、教育相談体制を構築していく。

コロナワクチン接種
問 相談窓口は。
答 接種手続き等については、町のコールセンターで対応。詳細については、県で対応となる。

ごみ袋
問 黒川圏域のごみ袋統一化の考えは。
答 本町はやりたいが、他町村とは管理体制が異なっているのが難しい。将来的には統一の方向に持っていきたい。

集落機能維持
問 集落機能維持・再生活動事業は。
答 令和3年度までは実施する予定。

道の駅防犯カメラ
問 台数と場所は。
答 EV充電器がある看板の所に2台、開発センターに3台設置する。



2割増商品券
問 販売予定数は。
答 昨年度は1600セツト。新年度は2500セツト予定している。

水道料金
問 使用料(10トン未満)に応じた基本料金の細分化を。
答 水道事業としての運営等も視野に入れながら、今後も検討していきたい。

予算審査特別委員会で6日間にわたり審議し、審査及び現地調査を踏まえ、19項目に及ぶ意見を町当局に提言した。



町道の安全確保を

区画線等の交通安全施設を計画的に施工し、町道の安全確保に努められたい。

問 町道の白線が消えている箇所への対応は。
答 地域整備課 計画的に進めていく。



物産開発への支援を

物産開発の支援を行い、農業振興に努められたい。

問 町独自の商品開発への支援は。
答 農政商工課 ずんだを使ったコロッケや道の駅のラテがある。随時商品開発をしている。



登記未処理の解消を

町道等の登記未処理事案の解消に努められたい。

問 未登記土地の進捗状況は。
答 財政課 当初約140件あり、現在では約70件処理が完了。



企業版ふるさと納税の周知を

ふるさと納税（企業版）の周知を図られたい。

問 企業にとってふるさと納税のメリットは。
答 財政課 法人税や法人住民税等が限度額の9割まで控除額の対象になる。



鳥獣被害対策を

鳥獣被害対策強化を図られたい。

問 鳥獣被害防止施設購入事業補助金制度の内容は。
答 農政商工課 電気柵、防護柵などを設置した場合に対しての補助である。



早期に治水・内水対策を

町管理河川の浚渫工事を早期に着手し、治水、内水対策に努められたい。

問 緊急浚渫工事は何か年計画なのか。
答 地域整備課 令和2年度から5か年計画。なお、西光寺川は3か年で終わる予定。



防犯カメラの増設を

防犯カメラの増設を図られたい。

問 主要道路でない場所にも防犯のため、カメラを計画的に設置してほしい。
答 総務課 3年前に8基増設している。全体的にみて検討したい。



成婚・婚活事業の工夫を

1年成婚事業の周知及び婚活イベントの内容を工夫し、参加者の増を図られたい。

問 新しい支援の考えは。
答 まちづくり政策課 民間事業者の意見を参考にし、工夫していく。



図書室の充実を

中央公民館図書室の充実を図られたい。

問 令和2年度は何冊購入したのか。3年度の予定は。
答 社会教育課 2年度は54万円で421冊購入。3年度は27万円の予算で250冊購入予定である。



児童・生徒の安全確認を

スクールバス乗降所や通学路を定期的に点検し、児童・生徒の安全の確保に努められたい。

問 スクールゾーンの危険箇所を把握しているのか。
答 学校教育課 令和2年度は点検できなかったが、令和3年度は通学路等安全対策推進会議を実施したい。



地域おこし協力隊の定住を

地域おこし協力隊を積極的に募集し、町の活性化を図り、移住定住に繋がれたい。

問 任期を終えた後も町内に住んでもらうための優遇措置は。
答 復興定住推進課 任期満了後、残っただけよう町としてもサポートしていきたい。



健康推進を図れ

健康増進事業のさらなる推進を図られたい。

問 健康診断の受診率向上対策と町民への意識対策は。
答 保健福祉課 AIを活用し、健診を受けなかった方に受診していただけるよう通知する。

政務活動費 新年度も返上

新型コロナ対策や災害復興事業に充当するため、政務活動費を令和2年度に引き続き交付しないことを全会一致で可決した。

〔委発第1号〕
大郷町議会政務活動費の交付に関する条例の改正

（政務活動費の特例）
令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間、政務活動費は交付しない。
〔提出者〕

議会運営委員会
委員長 石川 壽和
委員 熱海 文義
若生 寛
千葉 勇治
石垣 正博
赤間 茂幸

人事案件

人権擁護委員の推薦
相澤 恵子氏（中村）
鈴木 利博氏（上町）
任期 3年間

固定資産評価審査委員会委員の選任
高橋 貞吉氏（吉ヶ沢）
任期 3年間

改善

水道事業会計

石綿セメント管及び老朽管の更新を早期に行い、有収率の向上を図りたい。

推進

文化財の保護支援を

貴重な文化財の保管に努め、無形文化財の保護、継承支援に努められたい。

拡充

国民健康保険特別会計 介護保険特別会計

各種健診の周知方法を工夫し、受診率の向上を図られたい。
介護予防事業や認知症予防事業のさらなる充実を図られたい。

推進

下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計 戸別合併処理浄化槽特別会計

加入促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。

一般会計

討論

反対 千葉勇治議員

庁舎建設基金積立金1億円は、災害復興のスタートの年であるため、今年度は見合わせるべき。認定こども園の通園バス送迎補助員人件費と緑の郷農園、ふれあい農園の土地借地料の町負担は納得できない。町独自の新型コロナ対策費があまりにも低すぎる。

反対 大友三男議員

一般会計予算への具体的説明がなく、町債だけが增加する状況にある。復興事業と、それが完了した後の活気あるまちづくり事業を連動させた予算計上を行うべきと考え反対する。



賛成 佐藤 牧議員

復興予定地の宅地高上げ、防災コミュニティセンターと避難路の整備、新型コロナウイルスワクチン接種対応チームによる体制の確保、割増商品券の拡大等が計上され、執行部のシンプルで説得力のある未来予想図が明確であることから賛成する。

賛成 高橋重信議員

中粕川地域の復興再生に向けた事業、災害公営住宅を含む中村原地区の宅地造成事業などが見受けられるので賛成する。

賛成 石垣正博議員

台風19号災害箇所工事が加速するのが令和3年と思う。緑の郷の指定管理者となる㈱ラトリエ、施設内でICT関連事業がスタートするなど、今後に期待し賛成する。

報告第1号 障害者福祉計画

第3次障害者基本計画、第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画が策定された。

議案第7号 課設置条例の一部改正

まちづくり政策課に国家戦略特区事業を推進するため「国家戦略推進室」を設置。保健福祉課と町民課の子育て部門を統合し、町民課に「子ども健康室」を設置。

議案第8号 税条例の一部改正

障害者等の軽自動車税の減免申請期限を「納期限まで」に延長。

議案第9号 国民健康保険税条例の一部改正

軽減判定の基礎控除額を33万円から43万円に引き上げ。

議案第10号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

死亡、障害等の要因が自然災害によるものか否かの判定が困難な場合、災害弔慰金等支給審査委員会の規定を設け、その審査委員報酬について定めるもの。

議案第11号 町営住宅条例の一部改正

東沢団地並びに田布施団地の解体工事が令和3年3月完了予定のため、管理対象から外すもの。

議案第12号 東日本大震災復興交付金基金条例の廃止

令和3年4月1日をもって基金条例を廃止。

議案第31号 介護保険条例の一部改正 第8期介護保険事業計画（令和3年度から5年度）

介護保険料を平均基準月額6,200円から6,300円に改定。

議案採決結果一覧表

議案名 (略称は上記の表をご覧ください)	採決結果	吉田耕大	佐藤 牧	赤間 茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川 壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生 寛	石川良彦
委発第1号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第7号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
議案第8号～第12号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第31号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
※可否同数でない限り、議長（石川良彦）は採決に加わらない。

600万円

強い農業担い手づくり 総合支援交付金



問 交付金の内容は。
答 購入価格の30%以内、上限300万円を農業機械を購入する2法人に交付。

5193万円

公共施設整備基金積立



旧粕川小学校解体工事予算の工事請負金額の差額を基金に積み立てるもの。

802万円

黒川地域行政事務組合負担金 (ごみ焼却処理負担金)



問 負担金増額の要因は。
答 台風19号災害等により、ごみが増加した分。

-1663万円

商品券発行事業補助金



問 申し込みが全世帯の半分だったとのことだが、どう分析しているのか。
答 今年度、3割増及び全戸配布の商品券に続いての5割増ということで必要とされなかったと思うしかない。

3月定例会
補正予算
3月5日

ヤンチャ丸に代わる 遊具の設置

令和2年度 一般会計補正予算

令和2年度一般会計補正予算は1億9271万円減額となり、歳入歳出それぞれ69億2719万円となった。主なものは、郷郷ランド遊具設置工事と公共施設整備基金積立など計上されたが、一方で事業費確定などにより大幅減額となった。

めだま



今回の主な

396万円

子育て世帯臨時 特別給付金



令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した新生児に、一人当たり12万円を支給するもの。

5012万円

郷郷ランド 複合遊具設置工事等



問 ヤンチャ丸に代わる遊具設置をどう考えているのか。
答 庁舎内で検討中である。

3月定例会
補正予算
3月18日

令和2年度一般会計補正予算

619万円を減額し69億2100万円に

一般会計(第11号)と戸別合併処理浄化槽特別会計の補正予算が提出され、原案どおり可決しました。

減額理由：地震により被災した戸別合併処理浄化槽修理が国庫補助等の対象となったため、繰入金を減額するもの。

その他の質疑

問 自動水栓化
小・中学校の手洗い自動水栓化は。
答 小・中学校の希望を聞き、水栓化の方針は決まったので、新年度以降提案していく。

問 サテライトオフィス
整備推進補助金180万円の内容は。
答 緑の郷のWiFi設置工事及び備品の購入である。

問 国民健康保険
4割を割るような受診率の状況である。解決に向けた施策は。
答 コロナ禍による受診控えと思われる。今後、受診率向上について、一層努力していく。

問 戸別合併処理浄化槽
地震で壊れた浄化槽を個人で復旧したときの町の支援は。
答 町管理の浄化槽はすべて町で対応。個人で設置された方は個人で管理となる。



いしがき まさひろ 議員
石垣 正博

内水対策の計画は

田んぼダムの機能を活用(町長)

問 西光寺川の浚渫事業が
いまだに未着手なのはどの
ような理由なのか。

答 町長 今年1月の大雪、
工事工程の見直しなどもあ
り、今年2月下旬より工事
着手。年度内に完了予定で
ある。

問 台風19号発災後に、町
が取り組んだ内水対策事業
及び計画について伺う。

答 町長 緊急浚渫推進事
業により、令和3年度以降
も実施していく。また水田
が持っている洪水緩和機能
を活用し、田んぼダムによ
り災害を軽減できないかを
関係機関と検討中である。

問 羽生地区の打越、堤田
は大雨の都度大規模な内水
が発生し、住宅にも影響を
及ぼしている。いまだに対
策が取られていないが、問
題では。

問 地域整備課長 味明川
浚渫事業とともに県にお願
いする。下流域の水田の所
有者に理解をいただき、改
良区と協議を進めながら対
応を検討する。

問 排水機能の強化を
堤防改修に併せ、排水
機能を強化するよう、見直
しを国・県に要望すると答
えているが、どのように進
んでいるのか。

答 地域整備課長 災害復
旧では現況復旧が原則。機
能強化は難しい。配水路等
の整備の必要性、排水先の
吉田川での排水停止の規制
など、今後検討が必要。

問 本町の内水対策として、
水田の遊水地または貯留施
設を利用する計画は。

答 町長 吉田川の堤防が
破堤しないようにするため
には遊水地の計画が必要。

問 国では、国土強靱化5
か年加速化対策で、排水機
場は400施設の遠隔操作
を実施する。その中に、本
町の施設は入っているのか。



▲西光寺川(東成田)浚渫工事着手

問 地域整備課長 現在、
国の計画には入っていない。
今後、鶴田川沿岸土地改良
区と協議をしていく。

問 学校のデジタル化に全力を
急激な学校のICT化

答 地域整備課長 先生方
に対応するため、ICT支
援員を小・中学校兼務で1
名配置する予定としている
がどうなのか。

答 学校教育課長 先生方
はネット環境が揃ったとこ
ろでの研修支援を望んでお
り、今年度は配置しない。

令和3年第1回定例会 議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦
補正予算	一般会計(第10号)	69億2719万円(1億9271万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険(第4号)	9億2615万円(3365万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険(第3号)	10億5365万円(1235万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療(第3号)	8130万円(140万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業(第3号)	2億3552万円(382万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業(第3号)	6414万円(134万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽(第3号)	6794万円(101万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
宅地分譲事業(第4号)	2627万円(72万円↓)	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
P10-11	水道事業会計(第5号) ①収益的支出:2億6484万円(89万円↓) ②資本的支出:1億2312万円(446万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計(第11号)	69億2100万円(619万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和3年度当初予算	戸別合併処理浄化槽特別会計(第4号)	6795万円(1万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計		可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
P2-8	農業集落排水事業		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	水道事業会計		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額
可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

次ページから一般質問

ただ 7名が町政を質す!



質問議員	質問件名	掲載ページ
いしがき まさひろ 議員 石垣 正博	1. 防災力向上に全力を 2. 学校のデジタル化について	P.13
おおとも みつお 議員 大友 三男	1. 大郷町都市計画マスタープランについて 2. ふれあい号について	P.14
ちば ゆうじ 議員 千葉 勇治	1. 新型コロナウイルス対策について 2. 中粕川地区復興まちづくり計画について 3. 「未来型故郷創生」のまちづくりについて	P.15
わが なおよし 議員 和賀 直義	1. 令和3年度施政方針について	P.16
いしかわ としかず 議員 石川 壽和	1. 大郷町都市計画マスタープランについて	P.17
よしだ やすひろ 議員 吉田 耕大	1. 公共交通体制の見直しについて 2. 新型コロナウイルスワクチン接種について	P.18
わかろう ひろし 議員 若生 寛	1. 農業支援策は	P.19



ちば ゆうじ 議員
千葉 勇治

コロナワクチン接種いつから

高齢者優先で5月過ぎから（特命参事）

問 今後の接種計画は。
答 特命参事 最新の情報では4月末までに町に配布され、接種できるのは5月を越える予定である。

問 以前の説明では、集団接種を大和町に場所を設けて行うという話だった。今回はなるべく希望する場所、地元で行うとのことだが、変更になったのか。
答 特命参事 基本的にはかかりつけ医療機関（町内外問わず）で予約を取って接種してもらおうこと、集団接種はあくまで補完的な取り組みである。

問 感染まん延防止のため福祉関係や学校関係などで働く方々に、PCR受診への一部支援を行い互いに安心して働ける環境整備を。

新型コロナウイルス対策



おもと みつお 議員
大友 三男

格差が広がらないまちづくりを

特徴のある町を創る（町長）

問 都市計画マスタープラン策定にあたり、審議会に行政区長は何名参加したのか。
答 まちづくり政策課長 審議会構成委員規則で、7名となっている中で、区長会推薦の1名です。

問 全体のまちづくり計画策定にあたり、行政区長全員に直接意見・要望を聞くことを考えなかったのか。
答 まちづくり政策課長 パブリックコメントで意見を募集した。審議会参加の区長からは、各区長を通じて意見を集める必要もあつたのではとの意見があつたと、大きく分けることで格差が広がり、行政区ごとの課題を改善しなければ、衰退してしまうところも出て、均衡ある発展につながる

問 希望の丘団地に隣接する8000㎡の土地を購入してから、約6年経過しているが、どのように利用する考えか。
答 町長 ほとんど考えていない。

中粕川の復興状況

問 東日本台風被害により、世帯数や人口が減少し、さらに、高齢化が進み若い世代が減少している中粕川地区を、衰退させず10年後、20年後、どのようにして活気のある町につくり上げていくのか。
答 町長 私に聞くんじやなくて、あなたのほうで提案していただきたいと思う。

町有地の活用は

問 民有地が主体の都市計画が示されているが、各地に点在している、町有地の利用が重要になるのではないか。
答 町長 企業誘致や定住促進など、土地条件を活かせるよう検討する。

中粕川地区の復興計画

復興計画

問 今後も増水や地震などで河川氾濫が考えられる。災害復旧で頑強な堤防が整備されても、地域住民が安心できる場所になるのか不安だが考えは。
答 復興定住推進課長 あくまで地震時を想定した避難所で避難弱者の点呼を行うところ。継続的に大雨等が予想される場合は、安全な場所に逃げていただく考えである。

問 東日本大震災の時、堤防は結構割れている。地震だから川は大丈夫だということでもいいのか。もっと慎重な議論が必要だと思うが。



▲地域格差が広がらない計画を

問 町長 堤防が強靱化され、台風19号時の雨量よりあと100mm多く降っても持ちこたえる。今後遊水地づくりにも力を注ぎ土手崎・三十丁地区も守っていきたい。



▲決壊箇所間近に1m程度の嵩上げで避難所の役割果たせるのか

ふれあい号利用の要件緩和を

問 現行の利用要件は75歳以上としているが、自分で移動できない74歳以下の方

問 調査し需要があつた場合、年度途中でも変更可能か。
答 保健福祉課長 調査結果必要と判断されれば、変える必要があると考える。

問 調査し需要があつた場合、年度途中でも変更可能か。
答 町長 本当に困っている人のために運行したわけ、これで十分だと思う。

一般質問

一般質問



かず とし 議員
石川 和賀

農家の高齢化と 担い手不足への考えは

早急に解決しなければと思っている(町長)

問 農業従事者の高齢化や担い手不足について考えは

答 町長 喫緊に解決しなければならぬ問題と捉えている。今後、町外からの移住就農者も受け入れるための体制、支援策について関係機関と連携しながら就農者確保対策に努めていく。

問 生産組織・農業法人全23組織の後継者が決まっているのはいくつあるのか。

答 農政商工課長 95%である。

問 個人経営(担い手)57名中60代と70代が44名という状況をどう捉えているのか。

答 農政商工課長 厳しい状況と感じている。今ある補助、支援をPRしながら後継者の確保に努めていく。

問 新規就農支援は、後継ぎ就農者には適用されない



なおよし 議員
和賀 直義

「安心して暮らせる 健康なまち」の施策は

ワクチン接種を早期に進める(町長)

問 「町民が安心して暮らせる健康なまち」について重点とする施策は。

答 町長 新型コロナウイルス感染症の脅威から健康を守るため、早期ワクチン接種を進める。

問 移動困難な人、単身赴任者への対応は。

答 町長 接種実施医療機関が行う個別接種を基本とし、集団接種も補完的に実施。介護施設入所者、単身赴任者などは、滞在している市町村で接種が受けられる。

問 スケジュール及び情報提供・啓発は。

答 町長 任意接種となるため、ホームページ・コールセンターの設置により丁寧に情報提供を行う。

問 新型コロナウイルス収束の切り札であるワクチン接種までの流れは。

答 町長 4月23日頃に接種券が対象者に送られ、その中の希望の医療機関を選んでいただき、主治医がある場合は相談の上受けることになる。

問 感染対策として、公共施設の手洗い場を自動水栓設備に改善することが重要だ。特に小学校、道の駅、公民館は第一優先に。

答 町長 更新が必要な箇所は地方創生臨時交付金を活用し、順次更新していく。

ICT教育下の モラル教育は

問 「教育のさらなる充実で心豊かなまち」について重点とする施策は。

答 教育長 GIGAスクール構想に基づくICT教育の推進である。

問 情報モラル教育の具体的取り組みは。

答 教育長 先生には研修会・先進地視察等を検討し、児童生徒には年間指導計画に情報モラルを位置づける。

問 小学校の全学年を一律35人にすることが国より示された。学力向上、教師の多忙の改善、新型コロナウイルスの感染対策にも有効では。

答 教育長 小学1・2年生及び中学1年生が35人学級となっている。この学年に対し教員補助者を配置し、学習習慣や生活習慣の定着を図っている。



▲自動水栓化で感染予防

問 不登校児童への対応としてGIGAスクール構想が有効と考えるが。

答 教育長 ICT教育が進む程、個別最適化の教育が展開でき、不登校の子供たち、外国子女に対しては教育活動の保障ができる。

とのことだが。

答 農政商工課長 国の補助事業というところで、対象にならない場合の要件がある。後継者のため補助の対象外でない補助もあるの、その活用についても案内できるようにしていく。

大型園芸ハウスの現状は

問 大松沢の3つの大型施設園芸農場の現状は。

答 町長 イグナルファームは、台風19号により大きな被害があったが、現在施設・設備等を復旧し労働力の削減、収量の向上に向けた取り組みを実施している。東北アグリヒトは、台風19号により施設が全壊したが、再建に向けて、国・県と協議を進めている。村上農園は嵩上げ高の変更や社内協議に時間を要したが、令和3年度内の操業開始に向け準備を進めている。

内水対策は

問 中小河川の浚渫作業をマスタープランで令和4年3月完了に向けて、取り組みと示されたが、イグナルファームに被害を及ぼした新堀川は対象外なのか。

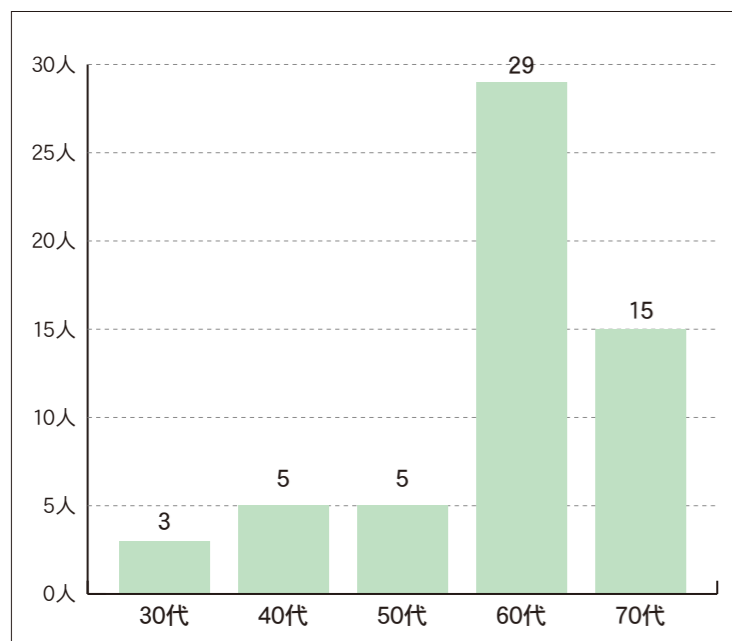
答 地域整備課長 県の管理河川であり、把握していない。県に内容を確認する。

問 新しく進出する企業の問い合わせ、照会があった

ときに安全で安心だということを伝え、誘致しては。

答 まちづくり政策課長 県でも大郷町の取り組みを理解している。県にあった相談等を紹介していただいている。そういったところを改めて積極的にPRしていきたい。

答 町長 県管理の河川について、積極的に強くお願いしている。



個人農業経営(担い手)年代別内訳

一般質問

一般質問



若生 寛 議員

カントリーエレベーター 利用料金への応援を

農家の考えを聞きたい(町長)

問 カントリーエレベーターの今後の予定は。

答 町長 施設の建設はJA新みやぎが主導している。対象地域での利用説明会を予定している。施設の活用と前川ほ場整備等と連携し、関係機関と情報共有し地域農業の活性化、生産性向上に努めて行く。

問 利用見込みは。

答 農政商工課長 2月時点約200ヘクタールの利用見込みである。300ヘクタールの利用目標に向け、地域に向き対策に取り組んでいきたい。

問 利用料金への応援を。

答 町長 農協と話し合い、農家がどのような支援を考えているのか聞きたい。

問 農業支援策は。

答 町長 現段階での見込みでは利用件数18件、補助金額820万円である。内容は農業機械の導入、各地域で実施する集落機能維持等の事業である。

問 個人農家へ特化した支援策は。

答 町長 これまでと同様の支援策を講じていく。

問 農政商工課長 認定農家以外では各種要件はあるが「がんばる農家支援事業」があり、上限20万円、補助率は7%である。

問 米の「生産の目安」により作付面積が減少となり収入の減少が見込まれるが農家への支援策は。

答 町長 町全体で29ヘクタール、配分率で約1・3%の減となる。減少分を備蓄米、飼料用米等の新規需要米への転換で収入は主食用米と同程度確保できるものと思う。野菜等への助成金を増額して対応する。



▲建設が進むカントリーエレベーター

住民バスの休日運行を

仙台圏域と意見調整していきたい(町長)

問 公共交通体制の見直しや更なる活用をしていただくための施策は。

答 町長 令和3年度中にスクールバスも含め運行見直しを検討する。

問 住民バスの休日運行の考えは。

答 町長 より多くの皆さんの生活の足としてご利用いただけるよう協議を進めていく。黒川圏域、松島駅、利府駅、泉中央駅まで運行できればと思う。仙台都市圏と意見調整していきたい。

問 学生などにとって学校に行くだけのバスではなく、普段の足になるよう早期に解決を。

答 まちづくり政策課長 全力をもってあたらせていきたい。

問 黒川地域内の病院でワクチン接種を行えるよう、医師会に要望する必要があると考えるが。

答 町長 黒川医師会の協力が不可欠であり、集団接種の実施に関する協力要請も含め、現在医師会と詳細を協議中である。



▲学生のためにも休日運行を



吉田 耕大 議員

問 ふれあい号の利用対象の拡大の考えは。

答 町長 アンケート調査を行い需要と供給を見定め、当初の目的に資するよう検討していく。

問 川北・川南に分かれていた運行体制の見直しを。

答 保健福祉課長 問題点として考えている。今後どういった運用がいいのか、その辺も含めながら考えていきたい。

問 集団接種会場に公共交通機関で来場される方に対し交通費を無料にする考えは。

答 町長 移動手段のない方に対する接種会場までの交通手段については、何らかの手配をする。

問 引換券を発行して、住民バスやふれあい号を活用する考えは。

答 特命参事 集団接種についてはシャトルバスの運行ができないものか現在検討中である。

一般質問

一般質問

議会の主な動き (1/1~3/31)			
月 日	用 務	月 日	用 務
1/5	広報広聴常任委員会	2/24	議会運営委員会
1/15	広報広聴常任委員会		議会改革調査特別委員会小委員会
1/18	議員全員協議会		第24回災害対策調査特別委員会
1/19	宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会		第9回議会改革調査特別委員会
1/20	第1回臨時会	2/28	第25回災害対策調査特別委員会 [住民懇談会]
1/26	教育民生常任委員会	3/3~18	第1回定例会
1/28	総務産業常任委員会	3/3	議員全員協議会
2/9	議員全員協議会	3/5	広報広聴常任委員会
	第23回災害対策調査特別委員会	3/10	第26回災害対策調査特別委員会
2/12	第2回臨時会	3/12	大郷中学校卒業式
2/16	議員全員協議会・広報広聴常任委員会	3/16	議員全員協議会・議会運営委員会
	くろかわ商工会大郷支部との懇談会		第27回災害対策調査特別委員会
2/17	宮城県町村議会議長会表彰式・定期総会	3/19	大郷小学校卒業式
	宮城県黒川地方町村議会議長会定期総会	3/24	広報広聴常任委員会
2/18	議会運営委員会	3/26	議員全員協議会
2/19	黒川地域行政事務組合議会定例会	3/30	広報広聴常任委員会・議会運営委員会

確かな復興へ

災害対策調査特別委員会

2月9日 第23回 復興再生ビジョンの進捗状況について

復興計画の具体的内容について

2月24日 第24回 住民懇談会の内容について

2月28日 第25回 住民懇談会実施

会場：中粕川分館・B&G海洋センター

3月10日 第26回 住民懇談会のまとめ

3月16日 第27回 今後の方針について



▲被災された住民との懇談会

よりスピーディに改革を

議会改革調査特別委員会

2月24日 第9回 今後の運営について

3つの分科会を設置し、今後はより速やかに議会改革を進めていく

適正な議員定数に関する調査	◎和賀直義・石垣正博・高橋重信・佐藤千加雄・大友三男・千葉勇治・石川壽和
議会基本条例に関する調査	◎熱海文義・若生 寛・田中みつ子・千葉勇治・石川壽和
議会のIT化に関する調査	◎佐藤 牧・赤間茂幸・吉田耕大・千葉勇治・石川壽和

◎：座長

第1回 臨時会

1月20日 (水)

コロナ関連経費等1億2845万円

【議案第1号】令和2年度大郷町一般会計補正予算(第9号)
 新型コロナウイルスワクチン接種にかかる経費、中央公民館解体工事費等1億2844万8千円を追加し、予算総額71億1989万6千円となる。

問 黒川郡内で集団接種できる場所は富谷市で1カ所、大郷町で1カ所だけのことだが、本町の接種が遅れるようなことはないのか。
 答 そういうことにならないようにしたい。集団接種の運営方法については今後4市町村で協議しながらやっていく。

問 公民館の解体工事は、なぜこんなに急になったのか。
 答 バルコニーの調査を行い、建築基準法に基づき避難路的に耐久力不足が報告されたことを踏まえ移転となった。

問 公民館移転先の開発センターの改修費(259万円)は十分なのか。
 答 現在の利用状況を踏まえ、会議室が2つあるので対応できる。

第2回 臨時会

2月12日 (金)

緑の郷の指定管理者に(株)ラトリエ

議案	施設名	指定管理者	指定管理料	期間
第2号	物産館	(株)おおさと地域振興公社	なし	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 (5年間)
第3号	開発センター		460万円	
第4号	緑の郷	(株)ラトリエ	なし	
第5号	ふれあい農園		なし	

【議案第2号】物産館の指定管理者の指定
 問 町として、今後5年間の指定管理する課題は。
 答 令和3年度以降も新商品の開発等、緑の郷との連携も取りながら新たな取り組みが必要である。

【議案第3号】開発センターの指定管理者の指定
 問 開発センターの機械類の利用や活用を考えながら、来年度の状況を見ながら、どのような管理体制を整えたほうが良いかも考えてみたい。

【議案第5号】ふれあい農園の指定管理者の指定
 問 利用される方に現状のままの畑をお貸しするのか。
 答 地元の農業法人に委託といった形を考えている。作業道や排水の関係は法人・地権者の話を伺いながら、最終段階に入っている。

工事請負契約の締結

議案	工事名	契約業者名	契約金額	工期
第6号	旧粕川小学校解体工事	宮本産業(株)	1億1605万円	令和3年3月29日まで

議案採決結果一覧表

議案名 (略称は上記の表をご覧ください)	採決結果	吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦
議案第1号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第2号~第3号	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第4号~第5号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	-
議案第6号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席
 ※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

臨時会

追跡レポート

物産館の有効活用を

2階の利用については、キッズスペースと多目的利用の和室として活用している。

今後も施設の利用促進を図るために、おおさと地域振興公社と連携を図りながら、重点的に広くPRを実施し、多くの皆さんに利用していただける観光拠点としての役割を果たしていくよう連携していく。

農政商工課

(議会広報198号 追跡レポート)

その後の対応と今後の計画

物産館2階の利用については、新型コロナウイルス感染拡大対策としての施設利用の制限、利用者の方の利用自粛等により、施設利用は減っている状況の中、コロナウイルス対策をした上での利用も感染拡大状況を見ながら、対応しているところだ。

今後の計画については、現在の利用方法も継続しながら、キッズスペースの拡充等も含め、施設利用者の方に喜んでいただけるようなスペースになるよう、おおさと地域振興公社と検討しているところだ。

農政商工課



▲和室の更なる利用を

倒壊危険住宅対策を

行政区長の協力をいただきながら空き家の情報を収集し、適正に管理されていない空き家等について所有者等に対し通知している。

老朽化が進み、町民の生活を脅かす存在となる場合もあることから、今後も適切な啓発指導を行い、関係部署と適切な対策を検討していく。

まちづくり政策課

(議会広報195号 追跡レポート)

その後の対応と今後の計画

本町においても高齢化社会の進展などに伴い、適正な維持管理がなされていない倒壊危険住宅の増加が懸念されております。

町では庁舎内の関係部署と連携し、家屋の維持保全に対する所有者責任を明確化するとともに、倒壊危険住宅の所有者に必要な措置を講ずるよう指導等を行って参ります。

また、空き家が倒壊危険住宅となる前に、賃貸や売買等、利活用いただくため、家屋の所有者に対し、空き地・空き家バンクの制度等の周知に努めて参ります。

復興定住推進課



▲空き家バンクに登録を

教育民生 常任委員会

1/26



▲担当課よりの説明

【調査の概要】

役場において、「家庭ごみの減量化」と「認定こども園の現状について」の説明を受け調査を行った。

【意見】

ごみの減量化の推進を

- 家庭ごみを減らす取り組みについては、町民に分かりやすく指導する取り組みが必要である。ごみを作らない努力（買い物はマイバックを持参するなど）が必要であり啓発に努められたい。
- 生ごみは十分に水分を切ってから出すことにより減量化が図られるので周知徹底を図られたい。

子ども子育ての充実を

- 子ども・子育て支援計画において、関係機関が一体となって連携を図り、具体的な支援策を示し、安全・安心な幼児教育・保育が行われることを望む。
- 保護者の了解のもと、保育・教育・福祉・保健が情報の共有による一貫した支援に取り組み、小学校への円滑な移行を図られたい。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応は、基本的にはこども園で行われるが、必要に応じて臨時交付金等を活用し支援されたい。

次回は

「第8期介護保険事業計画の円滑な運営について」を調査します。

総務産業 常任委員会

1/28



▲民間企業による農泊事業

【調査の概要】

農業振興施設について、パストラル緑の郷と大郷町ふれあい農園及びJA新みやぎ大郷穀類乾燥調製貯蔵施設（ントリーエレベーター）の建設状況を視察し、その後、説明を受け調査を行った。

【意見】

- 前川ほ場整備事業について、地権者との協議を迅速に行い、推進同意、本同意が得られるよう土地改良区と連携し早期完工を望む。
- 枝豆産地化事業について、特産品、高収益野菜として支援環境を整える必要がある。モロヘイヤ栽培支援を行い作付け面積を拡張すべきである。
- 耕作条件整備事業について、山崎地区が実施されている。他の地域にも周知し、事業支援を図られたい。
- 農泊推進事業について、都市との交流、移住定住、空き家の有効活用につながる考えられる。国の補助制度等を活用し進められたい。
- 有害鳥獣対策について、イノシシ等の捕獲対応・資格（罟免許）取得に対し、支援を期待する。処理対策は黒川地政治組合と協議し、施設の設置を望む。
- スマート農業について、先進的な技術や経営を取り入れ、大型ほ場整備地区等で経済効果が向上するよう取り組みを。

次回は

「開発許可制度について」を調査します。

農業支援の充実を

委員会

住民の 声



さ さ き かつあき
佐々木 勝顕さん
(木ノ崎)

もっと 住みやすい町に

いろいろと思うことはありますが、大郷町は交通機関が少なすぎると思います。子どもたちは免許がない分どこかに行きたくてもどこにも遊びに行けないので他の町村よりも流行りに遅れたり、高齢者が免許返納した場合は買い物等の足がなくなると思います。

住みやすいまちづくりと言っていますが、バスもタクシーも電車もない分どこで高齢者や若者を過ごしやすくさせられるのか、町としてどう考えているのか、教えてもらいたいです。



▲編集作業

「おおさとみんなの議会198号」が第40回県町村議会広報選考会において入選を受賞しました。



4年連続で受賞

次回定例会

予定

6月3日(木)から
午前10時～
6月8日(火)まで

令和2年3月定例会より、ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube (ユーチューブ)」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



お知らせ

議会報告会について、5月に予定しておりましたが新型コロナウイルス感染拡大予防のため見合わせていただきます。

編集後記

町民の皆様には、写真の撮影や『住民の声』などにいつも快くご協力いただきまして、本当にありがとうございます。皆様のご理解がなければ、この広報は成り立たないのだと発行の度に実感致します。

さて、本町は今復興の真っ最中です。このままゆけば数年の内にさらに町づくりは進みます。その土台は、全町民全世代の方々が汗を流して作り上げたものなのだと確信しています。

新年度も町民の皆様とご一緒に、議会一同励んで参ります。

佐藤 牧

広報広聴常任委員会

編集委員

委員 長	若生 寛
副委員 長	佐藤 牧
委員 員	吉田 耕大
委員 員	赤間 茂幸
委員 員	熱海 文義
委員 員	石川 壽和